

ホールセキュリティのことは ホールセキュリティ特化企業へ訊ねるのが正解

遊技機の個別監視&全台録画あり、フルハイビジョン、フルデジタルあり、ホールコン連動あり、顔認識あり、...
ITAは1970年設立のホールセキュリティ特化企業です。

統合管理システム



MPC-Dプラス/Gプラス

「Dプラス」「Gプラス(ハイビジョン対応)」は監視カメラシステムを統合管理し、カメラシステム単体ではサポートできなかった様々な機能、オペレーションを提供する高付加価値製品です。監視業務、映像検証をもっと簡単に、早く、そして正確に。ITAがたどり着いたホールセキュリティの結論がここにあります。

台間カメラ個別監視



台間カメラ ITA-390B

個別監視といえば ITA。ホールセキュリティ最強の角度をご提供いたします。

※画像内の人物は遊技者に扮した当社スタッフです。

顔認識システム



D-FACE 顧客分析サービス

顔で個を認識するので、重複なしのデータ取りが可。来店者の性別、年代別、時間別の動向などを分析したレポートをお届けします。

フルハイビジョンCCTV



MPC-G シリーズ

ハイビジョン CCTV でありながら、ホールコンとの完全連動を実現。当社既存の8000システムとの併設が可能。

デジタルハイビジョンの圧倒的高画質!!!

「MPC-G」シリーズのカメラは、従来カメラの約5倍強の解像度があります。



画質比較イメージ

▶ デモ機を持ってお伺いします

ハイビジョン CCTV の最大の特徴は、何といても高精細画質にあります。ところが左図のように画質比較イメージを載せ「圧倒的!」「従来比5倍!」と強調しても、紙面ではその半分もお伝えすることができません。

そこで百聞より御一見。ITA では実機をお持ちしてのデモンストレーションを行っております。

国内どちらの店舗様、法人様先へも喜んでお伺いさせていただきますので、お気軽にお申し付け下さい。

アイ・テイ・エイ・ビデオ・サービス株式会社

本社 〒590-0831 大阪府堺市堺区出島西町 3-11 TEL.072-243-6666

www.ita-video.co.jp

お問合せ
【大阪本社】

072-243-6666

最寄の営業拠点への連絡、担当スタッフへの直接お問い合わせもお受け付けいたします。下記システムのデモもご相談ください。

営業拠点 東京支社 TEL.03-5800-0717 中部支社 TEL.052-701-1710 福岡支店 TEL.092-432-3130 札幌営業所 TEL.011-231-3600 仙台営業所 TEL.022-246-9110
金沢営業所 TEL.076-292-2250 広島営業所 TEL.082-264-2424 四国営業所 TEL.0877-98-4912 熊本S.S. TEL.092-432-3130(福岡支店がご対応いたします)

【営業品目】セキュリティカメラシステム / 監視カメラ統合管理システム / デジタルハイビジョン CCTV / ネットワークカメラシステム / デジタルレコーディングシステム / プロサ운드システム / マルチビジュアルシステム / デジタルサイネージ / ワイヤレスインターカム / 顔認識システム / 顧客分析サービス / 車番認識システム / テレビ会議システム / 他

ハイビジョンCCTV統合管理システム『MPC-Gプラス』 数十台のレコーダーを 一台のPCで統合管理

アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービスの『MPC-Gプラス』は、レコーダー100台以上のシステムでも一台のPCで統合管理。特定の人物追跡が直感的に行える「リレーカメラ」機能をはじめ、ホールでの運用性を追求したフルハイビジョンCCTVだ。

テ

レビ放送の地デジ化に続き、ホールセキュリティ分野でもカメラシステムのハイビジョン化が加速しつつある。「ハイビジョン」を掲げるラインナップが各社から出揃い、設

備担当者は選択に悩むところだが、決め手になるのは「ホールでの運用性」だろう。

アイ・ティ・エイ・ビデオ・サービスの『MPC-Gプラス』はハイビジョン

であることにプラスして、ホールでの活用シーンを想定した機能と操作性を備える監視カメラの統合管理システムだ。

たとえば不審人物の行動を録画映像で追跡するとしよう。店内での動線接触した人物の有無など。これら関連する映像は複数のレコーダーにまたがって記録されているはずで、従来ならばレコーダーからレコーダーへの面倒な検索サーフインが必要となる。場合によっては追跡不能さえあり得るが、『Gプラス』なら文字通り「追跡」が可能だ。不審者が右に曲がった(画面右側へフレームアウト)なら右側の、左折したら左側の「リレーカメラ」ボタン

人物追跡が簡単 (画面はハメコミ合成)



人物が曲がった方向の「リレーカメラ」ボタンをクリックすると、曲がった先のカメラに切替わる。超直感的な人物追跡が可能だ。

をクリックすればよい。どのレコーダーに接続されているかに関わらず、曲がった先のカメラ映像が表示される。追跡対象者のあとをひたすら同じ方向へクリックしていくだけという、理屈ぬきの直感操作で不審者を追いかけることができる。

大規模ホール

や、台間カメラで遊技台の個別監視を行っている店舗では、数百台以上のカメラを運用するケースも珍しくない。また巡回駆動するカメラでは「スポット呼出(あらかじめ遊技台などにズームアップした画角を登録し、番号で呼び出す機能)」での運用もあり、映像を切換えるためのチャンネルは膨大になる。それぞれのカメラが残す映像データ量も相当なものだ。『Gプラス』はカメラ数百台、レコーダー数十台というシステム構成であっても、使い手がその台数を意識することはない。あたたかも一台のシンプルなレコーダーを扱うイメージだ。

店舗平面図の任意ポイントをクリックすると、その場所や遊技台の映像が呼び出せる「マップウィンドウ」。日時、遊技機種、ホールコンの動作など具体的な条件を設定でき、一度の検索アクションでシステム上の全レコーダーから該当映像を探し出す「イベント検索」。時間をグラフ化し、スライダのドラッグ操作で録画映像を高速検出する「映像シークバー」。さらには「景品管理」「車番認識」などの連動でも可能。ホールセキュリティをけん引してきたメーカーだけに、「ハイビジョン」から一歩も二歩も進んだシステムに仕上げている。

▲